

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2024-013
2.研究課題名	生理指標付き自然談話コーパスに基づく危機言語の擬似動態保存と脳内処理過程の解明
3.研究期間	2025 年 1 月（倫理委員会承認後）～ 2030 年 3 月 31 日
4.研究の概要	意義・目的 （研究の背景・目的や倫理的項目についての的確に記すこと。） 消滅の危機に瀕しているタイプの異なる言語（タロコ語、トンガ語、カクチケル語）の話者が様々なタイプの文を理解したり産出したりしている際の脳活動を、脳機能計測（脳波(EEG)および機能的磁気共鳴画像法(fMRI)）を用いて計測し分析する。同種の実験を日本語、英語、中国語の話者にも実施し比較することによって、人間言語における語順選好とその背後にある要因を探る。申請者らがこれまでに実施した関連する研究の結果などから、どのような語順が好まれるかは各言語の文法的特性と人間に共通する普遍的認知特性との相互作用により決まることを示唆する結果が得られるものと予測している。
	方法 各言語の健常な 20 歳以上の母語話者が様々なタイプの文を理解したり産出したりしている際の脳活動を、脳機能計測（脳波、機能的磁気共鳴画像法）を用いて計測・分析し、人間言語における語順選好を決定する要因を探る。 謝金は各国の経済水準を考慮し、東北大学ならびに各国の研究協力機関の規定などに準拠して、所要時間に応じて支払う。
	問い合わせ・苦情等の窓口 （講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと） 東北大学大学院文学研究科言語学研究室（022-795-5983） 東北大学川内南地区「人を対象とした医学系研究」 倫理審査委員会事務局（022-795-6103）